



令和3年2月10日

各位

トモニホールディングスグループの令和3年3月期第3四半期決算概要について

トモニホールディングス（本社：香川県高松市、社長：中村 武）は、令和3年3月期第3四半期（令和2年4月1日～令和2年12月31日）連結業績等の概要と、当社グループの中核企業である徳島大正銀行（本店：徳島県徳島市、頭取：板東豊彦）及び香川銀行（本店：香川県高松市、頭取：山田径男）の単体業績等の概要について発表いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. トモニホールディングス

(1) 令和3年3月期第3四半期（令和2年4月1日～令和2年12月31日）連結業績

当第3四半期における損益状況は、経常収益は、国債等債券売却益及び株式等売却益が増加しましたが、有価証券利息配当金が減少したこと等により、前年同期比253百万円減少して52,728百万円となりました。経常費用は、営業経費が減少しましたが、国債等債券売却損、株式等売却損及び株式等償却が増加したこと等により、前年同期比773百万円増加して42,434百万円となりました。その結果、経常利益は、前年同期比1,026百万円減少して10,293百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比927百万円減少して7,268百万円となりました。

当第3四半期末における主要勘定残高の状況は、総資産残高は、前年度末比4,625億円増加して4兆4,556億円となり、純資産残高は、前年度末比165億円増加して2,365億円となりました。また、譲渡性預金を含む預金等残高は、前年度末比3,790億円増加して3兆9,784億円、貸出金残高は、前年度末比1,437億円増加して3兆504億円、有価証券残高は、前年度末比183億円増加して6,603億円となりました。

		令和3年3月期 第3四半期	
			前年同期比
損益	経常収益	52,728百万円	△253百万円
	経常費用	42,434百万円	773百万円
	経常利益	10,293百万円	△1,026百万円
	親会社株主に帰属する四半期純利益	7,268百万円	△927百万円
		令和3年3月期 第3四半期末	
			前年度末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	44,556億円	4,625億円
	純資産	2,365億円	165億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	39,784億円	3,790億円
	貸出金	30,504億円	1,437億円
	有価証券	6,603億円	183億円
	自己資本比率（国内基準）	8.80%	0.28%

(2) 令和3年3月期通期（令和2年4月1日～令和3年3月31日）連結業績予想

令和2年11月12日に公表しております令和3年3月期通期の連結業績予想につきましては、修正ございません。

2. 徳島大正銀行

(1) 令和3年3月期第3四半期（令和2年4月1日～令和2年12月31日）単体業績

【前年同期（決算ベース）比】

当第3四半期の損益状況は、経常収益は、合併に伴い貸出金利息が増加したこと等により、前年同期比4,243百万円増加して24,978百万円となりました。

また、コア業務粗利益は、資金利益が増加したこと等により、前年同期比5,045百万円増加して20,894百万円となり、銀行本業の収益を示すコア業務純益は、前年同期比1,586百万円増加して7,209百万円となりました。

経常利益は、与信関連費用が減少したこと等により、前年同期比1,468百万円増加して6,615百万円となり、四半期純利益は、前年同期比1,073百万円増加して4,406百万円となりました。

【前年同期（合算ベース）比】

経常収益は、有価証券利息配当金及び貸出金利息が減少したこと等により、前年同期比3,012百万円減少して24,978百万円となりました。

また、コア業務粗利益は、資金利益が減少したこと等により、前年同期比778百万円減少して20,894百万円となり、銀行本業の収益を示すコア業務純益は、経費が減少したこと等により、前年同期比470百万円増加して7,209百万円となりました。

経常利益は、与信関連費用が減少したものの、株式等関係損益が減少したこと等により、前年同期比192百万円減少して6,615百万円となり、四半期純利益は、前年同期比129百万円減少して4,406百万円となりました。

当第3四半期末の主要勘定残高の状況は、譲渡性預金を含む預金等残高は、個人・法人預金ともに増加し、前年度末比1,943億円増加して2兆2,028億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前年度末比1,985億円増加して2兆3,199億円となりました。また、貸出金残高は、新型コロナウイルス感染症対応融資をはじめ、中小企業・個人向け貸出等に積極的に取組みました結果、前年度末比753億円増加して1兆7,054億円となりました。なお、自己資本比率（国内基準）は8.07%となりました。

金融再生法開示債権額は、取引先企業の事業再生・経営改善への積極的な取組みによる債務者区分のランクアップを図るとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた取引先企業への資金繰り支援を積極的に行った結果、前年度末比792百万円減少して22,223百万円、総与信に占める割合は1.28%となりました。

		令和3年3月期 第3四半期	前年同期 (決算ベース) 比	前年同期 (合算ベース) 比
損益	経常収益	24,978百万円	4,243百万円	△3,012百万円
	コア業務粗利益	20,894百万円	5,045百万円	△778百万円
	コア業務純益	7,209百万円	1,586百万円	470百万円
	経常利益	6,615百万円	1,468百万円	△192百万円
	四半期純利益	4,406百万円	1,073百万円	△129百万円
	本業利益	3,890百万円	1,447百万円	811百万円
	与信関連費用	1,182百万円	△491百万円	△219百万円
		令和3年3月期 第3四半期末	前年度末比	
主要勘定残高・ 諸比率	総資産	24,720億円	2,336億円	
	預金等（譲渡性預金を含む）	22,028億円	1,943億円	
	総預り資産	23,199億円	1,985億円	
	貸出金	17,054億円	753億円	
	有価証券	3,847億円	224億円	
	自己資本比率（国内基準）	8.07%	0.26%	
不良債権	金融再生法開示債権額	22,223百万円	△792百万円	
	総与信に占める割合	1.28%	△0.11%	

(注) 各損益における前年同期比の計数は、決算ベースは令和2年3月期第3四半期における旧徳島銀行の計数と比較した計数を、合算ベースは令和2年3月期第3四半期における旧徳島銀行及び旧大正銀行の計数を単純合算したものと比較した計数を記載しております。

3. 香川銀行

(1) 令和3年3月期第3四半期（令和2年4月1日～令和2年12月31日）単体業績

当第3四半期の損益状況は、経常収益は、国債等債券売却益及び株式等売却益が増加したこと等により、前年同期比2,385百万円増加して22,577百万円となりました。

また、コア業務粗利益は、資金利益が増加したこと等により、前年同期比286百万円増加して16,521百万円となり、銀行本業の収益を示すコア業務純益は、経費が減少したこと等により、前年同期比697百万円増加して5,486百万円となりました。

経常利益は、債券関係損益が減少しましたが、前年同期比51百万円増加して4,238百万円となり、四半期純利益は前年同期比254百万円増加して3,555百万円となりました。

当第3四半期末の主要勘定残高の状況は、譲渡性預金を含む預金等残高は、個人・法人預金ともに増加し、前年度末比1,854億円増加して1兆7,807億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前年度末比1,890億円増加して1兆9,190億円となりました。また、貸出金残高は、新型コロナウイルス感染症対応融資をはじめ、中小企業・個人向け貸出等に積極的に取組みました結果、前年度末比681億円増加して1兆3,544億円となりました。なお、自己資本比率（国内基準）は9.52%となりました。

金融再生法開示債権額は、取引先企業の事業再生・経営改善への積極的な取組みによる債務者区分のランクアップを図るとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた取引先企業への資金繰り支援を積極的に行いましたが、前年度末比4,505百万円増加して30,499百万円、総与信に占める割合は2.20%となりました。

		令和3年3月期 第3四半期	前年同期比
損益	経常収益	22,577百万円	2,385百万円
	コア業務粗利益	16,521百万円	286百万円
	コア業務純益	5,486百万円	697百万円
	経常利益	4,238百万円	51百万円
	四半期純利益	3,555百万円	254百万円
	本業利益	2,586百万円	607百万円
	与信関連費用	333百万円	372百万円
		令和3年3月期 第3四半期末	前年度末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	19,821億円	2,272億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	17,807億円	1,854億円
	総預り資産	19,190億円	1,890億円
	貸出金	13,544億円	681億円
	有価証券	2,732億円	△45億円
	自己資本比率（国内基準）	9.52%	0.31%
不良債権	金融再生法開示債権額	30,499百万円	4,505百万円
	総与信に占める割合	2.20%	0.21%

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

トモニホールディングス株式会社 経営企画部
株式会社徳島大正銀行 企画部
株式会社香川銀行 総合企画部

TEL：087-812-0102
TEL：088-656-1118
TEL：087-812-5132